

インドネシア

ウラル川河川改修及び灌漑改良事業



ウラル川からの取水口

[借款概要]

承諾額/実行額	8,140百万円 / 7,498百万円
借款契約調印	1981年5月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1990年11月

[事業概要]

スマトラ島北部のウラル川の河川改修を行い約25千haの地域を洪水被害から守るとともに、灌漑・排水施設の改良により米の増産を図るもの。

[評価結果]

本事業においては、ウラル川の河口から約34kmの区間を対象として浚渫、掘削、築堤、護岸工事等からなる河川改修工事を行うとともに、18.5千haの水田を対象として、幹線・第2次排水路、末端圃場施設及び取水口（9カ所）の新設・改良工事が実施された。

1990年9月までに全ての工事が完成し、その後、対象地域では洪水被害は生じていない。

また、年間の作付面積は事業実施前の約24千haから実施後には約31千haとなり、米の生産高も約82千トン/年から126千トン/年へと増加している。流域住民のインタビュー調査では、大半が本事業により水害の不安から解放されるとともに、農家収入の増加、土地利用の改善、雇用創出等の効果があったとしており、本事業が地域住民の生活向上に貢献したことが窺える。

なお、河床低下により安定した取水が困難となっているため、円借款により固定堰や導水路の新設等からなる維持管理改善事業が実施される予定である。